

朝鮮労働党第8回大会活動報告をチュチェ思想研究普及活動に生かす

ダーモット・ハドソン

英国チュチェ思想研究会会長

朝鮮友好協会英国代表

金日成主席によって創始され、金正日総書記によって深化、体系化されたチュチェ思想の偉大な生活力と正当性はこんにち、日ごとに明らかになっています。今年1月、朝鮮労働党第8回大会が成功裏に開催されたことは、チュチェ思想の妥当性と優越性を如実に示すものです。

朝鮮労働党第8回大会は、朝鮮人民と、チュチェ思想及び先軍思想研究者をはじめ世界の進歩的人民の大きな期待のなかで開催されました。

朝鮮労働党第8回大会は、帝国主義諸国をはじめ、世界がいまなおコロナ禍で苦しんでいるときに開催されました。第8回党大会の開催期間、帝国主義と国際反動の中心都市、米国の首都ワシントンでは、米国帝国主義の内部矛盾による混乱が噴出していました。ところが、チュチェ思想と一心団結にもとづく朝鮮では、7,000 人もの人々が参加した一大政治祝典を催すことができました。朝鮮労働党第8回大会はまた、朝鮮にたいする敵対的勢力による厳しい制裁のなかにあっても、開催されました。

朝鮮労働党第8回大会は、大会の主要スローガンとして、「自力更生」をかかげました。(主要スローガンには、この他にも以民為天や一心団結があります)

第8回党大会において、金正恩総書記は、朝鮮の核抑止力を強化する必要性を強調しました。朝鮮は、核開発の揺籃期で核開発計画をあきらめたりピアや、フルシチョフの元で戦車や銃を溶解し、その後のゴルバチョフのもとで数百機におよぶ大陸間弾道ミサイルを廃棄したソ連が陥ったような畏には陥らないでしょう。金正恩総書記はまた、「**米国で誰が権力の座についても米国という実体と対朝鮮政策の本心は絶対に変わらない**」と言明し、米国への幻想はまったくないことを明らかにしました。これは真実です。朝鮮が帝国主義者にひざまずいたり、一方的に武装解除することはありえないでしょう。

帝国主義者や反動勢力は、朝鮮労働党が、いわゆる「改革」や「開放」に向かうのではなく、むしろ国家による統一的な指導や自力更生を強調しているといいながら、朝鮮労働党第8回大会を非難しました。

これは、金正恩総書記がつぎのように述べていることをさしています。

「国家経済の自立性と計画性、人民性を強化するには、国家の経済組織者としての機能を高め、経済活動の結果が人民の福祉増進に振り向けられるようにする原則に立って生産物に対する統一的な管理を実現すべきです」

人民重視の経済というのは、市場経済にも、他国依存の経済にもなりません。経済活動において計画立案の役割を高めることは理にかなっているといえます。なぜなら、経済も自然同様、人民の福祉増進に寄与するためには、管理され、随時、軌道修正が加えられなければならないからです。

ある人は、朝鮮は開放すべきであると言いますが、では、だれにたいして、なにを開放するのでしょうか。家のドアをあけ放ってれば、泥棒や強盗が入ってきて貴重品を盗んだり、侵入者が入ってきて家を荒らしかねません。

自力更生は、帝国主義敵対的勢力による制裁を乗り越えるだけでなく、社会主義を堅持し豊かな社会を実現するうえで決定的に重要です。朝鮮はより輸入を削減していくでしょう。

金正恩総書記は、「**新たな国家経済発展5か年計画の基本種子、テーマは、依然として自力更生、自給自足です**」と明示しながら、「**朝鮮革命発展の要求、社会主義建設の緊迫した要求から新たな展望計画期間の自力更生は、国家的な自力更生、計画的な自力更生、科学的な自力更生に発展すべきです**」と述べました。

朝鮮労働党第8回大会は、自力更生と社会主義的計画化をおし進めていくことを力強く宣言しただけでなく、反社会主義的、非社会主義的要素を一掃するたたかいを呼びかけました。これは、とても正しくりっぱな方針です。かつていくつかの社会主義諸国では、反社会主義、非社会主義的要素に反対するたたかいが軽んじられていました。さらに悪いことに、修正主義者が反社会主義、非社会主義的要素を意図的に黙認し、その結果として、資本主義がそれらの社会主義諸国において復活し、社会主義陣営が消滅してしまいました。朝鮮労働党第8回大会の旗じるしのもと、金正恩総書記に導かれた朝鮮は、真正の社会主義の砦として不動の地位を占めるでしょう。

金正恩総書記による朝鮮労働党第8回大会活動報告やその他の大会関連文献を読み、わたしは、この第8回党大会は、チュチェの社会主義建設をめざす強力な宣言であると確信し、興奮を覚えました。朝鮮は、第8回党大会で打ち出された自力更生の大道にそってより急速に前進していくであろうと、わたしは確信しています。

朝鮮労働党第8回大会が、チュチェの社会主義建設における新たな飛躍への出発点となるであろうことは、間違いありません。朝鮮人民は、金正恩総書記が率いる朝鮮労働党の人民第一主義のもとで、より幸福で豊かな生活に期待を膨らませることができます。

英国チュチェ思想研究会会員は、朝鮮労働党第8回大会の開催や金正恩総書記の大会演説に大変励まされています。英国ならびに世界の他の諸国のチュチェ思想研究者には、朝鮮労働党第8回大会で確認された歴史的な闘争綱領やスローガンを広く紹介していくという重要な課題が課せられています。

朝鮮労働党第8回大会が、チュチェ思想の真理性と正当性を再度明示したことは間違いありません。と同時に、帝国主義者やその追随者による朝鮮への誹謗中傷や、反自力更生、反チュチェ思想宣伝を粉砕することがきわめて重要です。わたしたちは、自主的な発展を実現していくためには、自力更生が唯一の解決策、唯一の方途であることをつねに強調していかなければなりません。

偉大な朝鮮労働党の第8回党大会において正当性がより立証されたチュチェ思想を普及するために、わたしたちはもっと努力していこうではありませんか。

チュチェ思想万歳

人民朝鮮万歳

朝鮮労働党万歳

尊敬する金正恩総書記万歳！

.